

DPCデータと 医療マネジメント

産業医科大学 産業保健データサイエンスセンター
産業医科大学病院 医療情報部

大谷 誠

本発表の目的

- 医療に関するデータ（主にDPCデータ）から、
 - 現在の自院のおかれている現状を知り、
 - 問題点を見つけ、その改善策を考え、
 - 院内で情報を共有する、
-
- 方法をお伝えする。

マネジメントとは

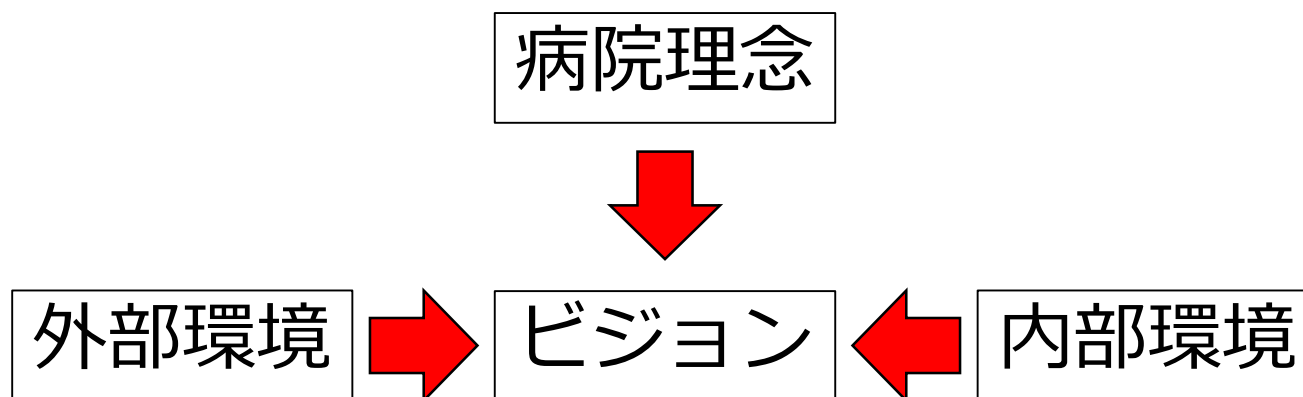
- 定義
 - 組織・職場の目標を達成するために、経営資源を効率的・効果的に活用すること。
- マネジメントは手法である。
- マネジメントを行うためには、対象が必要！

目標を決める

- 経営的な目標
 - 現在の業務フローの改善
 - 財政の健全化
- 本発表では財政の健全化を例に進めていく

目標を決める

- 必要な情報
 - 病院理念、外部環境、内部環境
 - ビジョン = 目標



※松田、基礎から読み解くDPC 第3版, 図3-16より、2011

本発表の目的

- **医療に関するデータ（主にDPCデータ）から、**
- **現在の自院のおかれている現状を知り、**
- 問題点を見つけ、その改善策を考え、
- 院内で情報を共有する、

- 方法をお伝えする。

データを集める

- 外部環境に必要なデータ = DPC公開データ等
 - 自院のある地域の患者の動向
 - 他施設の情報
 - 法律等
- 内部環境に必要なデータ = 自院のDPCデータ
 - 自院の患者の動向
 - 自院のスタッフの人数や業務状況

目標の決め方（STP戦略）

- マーケティングのSTP戦略を利用する
 - Segmentation（セグメンテーション）
 - 市場を異なったニーズ、特徴、行動様式に基づいた明確な購買者のグループに区分けするプロセス
 - Targeting（ターゲティング）
 - 各市場セグメントの魅力を評価し、参入すべき一つ、あるいは複数のセグメントを選択すること
 - Positioning（ポジショニング）
 - 標的とする消費者の心の中に、競合する製品と比較して、明確で、独自の、望ましい位置を自社の製品に確保すること

※松田、基礎から読み解くDPC 第3版, 図3-16より, 2011

目標の決め方（STP戦略）

- マーケティングのSTP戦略を利用する
 - Segmentation（セグメンテーション）
 - 同一の性格をもつ消費者集団・市場を意味をもったセグメントに分ける作業
 - Targeting（ターゲティング）
 - セグメンテーションの結果を分析して自社に最も適しているセグメントを選ぶ作業
 - Positioning（ポジショニング）
 - 自社の製品やイメージを他社のそれと比べて消費者の心の中でより明確かつ有利な位置を占めることができるように調整する作業

※ジアン、産業保健マーケティング、2002

目標の決め方（Segmentation）

- Segmentation（セグメンテーション）
 - 地域の患者を属性ごとに分割する
 - 地理的細分化
 - 人口動態的細分化：性、年齢など
 - サイコグラフィックスによる細分化：ライフスタイルなど
 - 行動による細分化：製品に対する知識

目標の決め方 (Targeting)

- Targeting (ターゲティング)
 - 市場セグメントの評価：規模と成長性、構造的な魅力、企業の目標と経営資源
 - 非差別型マーケティング：
 - 市場セグメントによる違いを無視し、一つのオファーによって全市場を追い求めるという決定を下す市場ガバレッジ戦略
 - 差別型マーケティング：
 - いくつかの市場セグメントを標的に決めそれぞれの市場ごとに提供するオファーを変えて計画する市場ガバレッジ戦略
 - 集中型マーケティング：
 - 少数のサブマーケットで大きなシェアを獲得することを目指す市場ガバレッジ戦略

目標の決め方（Positioning）

- Positioning（ポジショニング）
 - マーケティング・ミックス = 4P
 - 製品（Product）
 - 品種、品質、デザイン、特徴など
 - 価格（Price）
 - 表示価格、割引価格など
 - 流通（Place）
 - チャネル、範囲、場所など
 - プロモーション（Promotion）
 - 広告、人的販売、広報など

目標の決め方

- Segmentation
 - 患者を疾患別のセグメントに分割
 - 公開データ（DPC導入の影響評価に関する調査）
 - 参考資料 1
 - (1 1) MDC構成比
 - 他施設の疾患別の患者数
 - (1 8) 医療圏別MDC患者数
 - 医療圏内の疾患別の患者数
 - その他

外部要因を集めるデータ：リスト

- 公開データ
(診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会)
 - DPC導入の影響評価に関する調査 (参考資料)
 - 施設概要表
 - 参考資料 1
 - 参考資料 2
- 産業医科大学公衆衛生学教室作成データ
 - DPC分析関連
 - 地域別人口分析ツール
(All Japan Area Population-change Analyses)
- DPC研究班報告書

外部要因を集めるデータ：公開データ

テーマ別を探す | 報道・広報 | **政策について** | 厚生労働省について | 統計情報・白書 | 所管の法令等 | 申請・募集・情報公開

ホーム > 政策について > 審議会・研究会等 > 中央社会保険医療協議会(中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会)) > 平成26年度 第5回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

平成26年9月5日
(照会先)
厚生労働省保険局医療課包括医療推進係
03-5253-1111 (内線3288)

政策について

- 分野別の政策一覧
- 組織別の政策一覧
- 各種助成金・奨励金等の制度
- 審議会・研究会等
- 審議会・研究会等開催予定一覧

平成26年度 第5回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

1. 平成25年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について(案)
2. 医療機関群のあり方等について
3. 平成26年度特別調査(ヒアリング等)の実施について(案)
4. 医療機関別係数に係る検討課題について
5. DPC制度(DPC/PDPS)に係るこれまでの検討状況について検討結果(中間とりまとめ)(案)
○診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会委員
 ■ [委員名簿\(PDF:99KB\)](#)
○平成25年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について(案)
 ■ [D-1\(PDF:339KB\)](#)
 ■ [D-1\(参考\)\(PDF:104KB\)](#)

○DPC導入の影響評価に関する調査(参考資料)

- 施設概要表
 - [施設概要表\(Excel:373KB\)](#)
- 参考資料1
 - [\(1\)分析対象データについて\(PDF:225KB\)](#)
 - [\(2\)分析対象外としたデータの状況\(Excel:808KB\)](#)
 - [\(3\)在院日数の状況\(Excel:1,379KB\)](#)
 - [\(4\)在院日数の平均の差\(Excel:566KB\)](#)
 - [\(5\)救急車による搬送の有無\(Excel:674KB\)](#)
 - [\(6\)救急医療入院\(Excel:794KB\)](#)
 - [\(7\)他院よりの紹介の有無\(Excel:674KB\)](#)
 - [\(8\)退院先の状況\(Excel:1,761KB\)](#)
 - [\(9\)退院時転帰の状況\(Excel:2,107KB\)](#)
 - [\(10\)再入院の状況\(Excel:1,471KB\)](#)
 - [\(11\)MDC構成比\(Excel:31KB\)](#)
 - [\(12\)施設別MDC比率\(Excel:812KB\)](#)
 - [\(13\)診断群分類別在院日数\(Excel:1,634KB\)](#)
 - [\(14\)在院日数の平均の差_MDC別\(Excel:6,027KB\)](#)
 - [\(15\)手術化学療法放射線療法全身麻酔について\(Excel:497KB\)](#)
 - [\(16\)精神療棟の集計\(Excel:417KB\)](#)
 - [\(17\)様式1について\(Excel:28KB\)](#)
 - [\(18\)医療圏別MDC別患者数\(Excel:96KB\)](#)
- 参考資料2
 - [\(1\)集計条件について\(PDF:250KB\)](#)
 - [\(2\)MDC別医療機関別件数\(割合\)\(Excel:2,385KB\)](#)
 - [\(3\)予定・救急医療入院医療機関別MDC別集計\(Excel:1,244KB\)](#)
 - [\(4\)救急車による搬送の有無の医療機関別MDC別集計\(Excel:871KB\)](#)
 - [\(5\)入院から24時間以内の死亡の有無の医療機関別MDC別集計\(Excel:1,085KB\)](#)
 - [\(6\)診断群分類毎の集計\(Excel:15,317KB\)](#)
 - [\(7\)手術療法DPCコード集計\(Excel:3,377KB\)](#)
 - [\(8\)疾患別手術別集計_施設類型別\(Excel:672KB\)](#)

施設概要表

参考資料 1

参考資料 2

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000056344.html>
2015.02.17現在

外部要因を集めるデータ： 産業医科大学公衆衛生学教室データ

産業医科大学 公衆衛生学教室

このサイトを検索

HOME / ホーム

▼ ACTIVITIES / 活動

健康・農業プロジェクト
統計コンサルティング

▼ FILES / 公開資料

DPC analyses / DPC分析関連

Lecture / 講義資料

▼ NEWS / お知らせ

about this website /
ウェブサイトについて

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー九州会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

FILES / 公開資料 >

DPC analyses / DPC分析関連

<https://sites.google.com/site/pmchuoeh/files/dpcfiles>
2015.02.17現在

ファイル名	サイズ	バージョン	更新日時	アップロード元
FF1UP_1_0_1.zip 表示 ダウンロード	715KB	v. 1	2014/11/27 18:28	産業医科大学公衆衛生学教室
H23-25施設概要突合表.xlsx 表示 ダウンロード	163KB	v. 2	2015/01/26 18:52	産業医科大学公衆衛生学教室
参考資料 1.zip 表示 ダウンロード	6133KB	v. 1	2014/12/08 23:52	産業医科大学公衆衛生学教室
平成23-25年度患者総数及び救急搬送患者数.zip 表示 ダウンロード	548KB	v. 2	2015/01/20 23:21	産業医科大学公衆衛生学教室

HOME / ホーム

▼ ACTIVITIES / 活動

健康・農業プロジェクト
統計コンサルティング

▼ FILES / 公開資料

DPC analyses /
DPC分析関連

Lecture / 講義資料

▼ NEWS / お知らせ

about this website /
ウェブサイトについて

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー九州会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

DPCセミナー会場について
(FY2014)

NEWS / お知らせ >

地域別人口変化分析ツール

地域別人口変化分析ツール All Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA)について

記述: 村松圭司
著作者: 村松圭司 (産業医科大学) 松田晋哉 (産業医科大学) 伏見清秀 (東京医科歯科大学)

地域別人口変化分析ツール All Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA)は「医療計画を踏まえた医療の連携体制構築に関する評価に関する研究 (H24-医療-指定-037)」において、研究代表者である松田晋哉 (産業医科大学 医学部 教授) と、研究分担者である伏見清秀 (東京医科歯科大学大学院・医療政策情報学分野 教授) によって提唱された推計方法によって将来患者を推計した結果を簡便に表示するために、研究協力者の村松圭司 (産業医科大学 医学部 助教) がMicrosoft® excel®を用いて作成したものです。VBAのスク립トには著作権が発生します。商用二次利用はできません。

データの誤りを発見された方は産業医科大学公衆衛生学教室までお知らせください。

ダウンロードはこちら

AJAPAで閲覧することができるグラフは以下の通りです。

- ・1:人口推移 (1990~2040)
- ・2:年齢階級別人口推移 (1990-2040)
- ・3:人口ピラミッド (1990~2040)
- ・4:入院・外来患者推計 (2010~2040)

アウトプットイメージ (北九州市) をダウンロード可能です。下記リンクから取得してください。

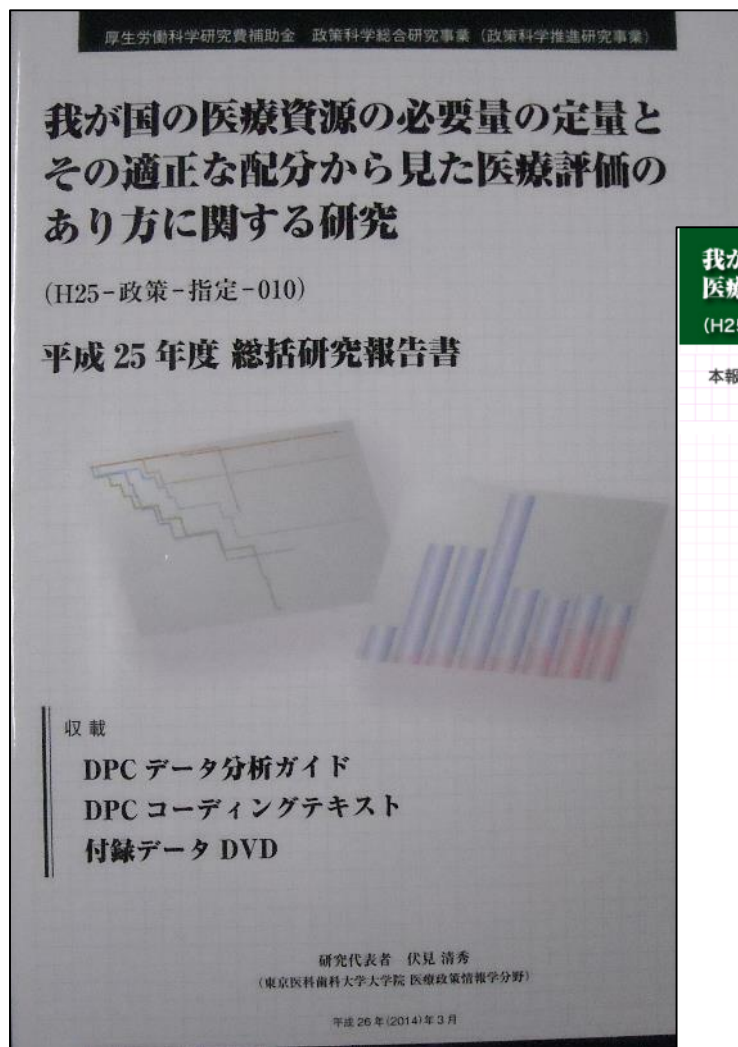
なお、将来患者数はあくまで推計であり、結果について作者らはいかなる責任も負いませんのでご了承ください。

40100北九州市.pdf (286k)	産業医科大学公衆衛生学教室, 2014/07/01 2:16	v. 1
----------------------	--------------------------------	------

コメント

<https://sites.google.com/site/pmchuoeh/oshirase/ajapa>
2015.02.17現在

外部要因を集めるデータ：DPC研究班報告書



我が国の医療資源の必要量の定量とその適正な配分から見た医療評価のあり方に関する研究

(H25-政策-指定-010) 平成25年度 総括研究報告書

本報告書 PDF 版 (白黒)	本報告書 PDF 版 (フルカラー)	研究報告書追加資料	DPC セミナー 配布資料	研究班作成 DPC データ分析用 マスターファイル式	研究班作成配布 プログラムとデータ
--------------------	-----------------------	-----------	------------------	----------------------------------	----------------------

研究班作成配布プログラムとデータ

- [平成22~24年度厚労省公表データDPC病院データベース\(全国編\) .zip](#)
- 平成22~24年度厚労省公表データDPC病院データベース(都道府県別)
 - ▶ [北海道データ.xlsx](#)
 - ▶ [青森県データ.xlsx](#)
 - ▶ [秋田県データ.xlsx](#)
 - ▶ [岩手県データ.xlsx](#)
 - ▶ [山形県データ.xlsx](#)
 - ▶ [宮城県データ.xlsx](#)
 - ▶ [福島県データ.xlsx](#)
 - ▶ [茨城県データ.xlsx](#)
 - ▶ [栃木県データ.xlsx](#)
 - ▶ [群馬県データ.xlsx](#)
 - ▶ [埼玉県データ.xlsx](#)
 - ▶ [神奈川県データ.xlsx](#)
 - ▶ [千葉県データ.xlsx](#)
 - ▶ [東京都データ.xlsx](#)
 - ▶ [山梨県データ.xlsx](#)
 - ▶ [長野県データ.xlsx](#)
 - ▶ [新潟県データ.xlsx](#)
 - ▶ [富山県データ.xlsx](#)
 - ▶ [石川県データ.xlsx](#)

目標の決め方

- Targeting
 - 自院の現状を可視化する
 - Eファイルから診療状況

施設コード	円・点区分
データ識別番号	行為回数
退院年月日	保険者番号
入院年月日	レセプト種別コード
データ区分	実施年月日
順序番号	レセプト科区分
病院点数マスタコード	診療科区分
レセプト電算処理システム用コード	医師コード
解釈番号	病棟コード
診療行為名称	病棟区分
行為点数	入外区分
行為薬剤料	施設タイプ
行為材料料	追加：患者識別ID

目標の決め方

- Targeting
 - Eファイルから診療状況
 - どの科で、いつ、どのような診療行為が、1日何人の患者に行われたか

```
SELECT [診療科区分]
      ,[実施年月日]
      ,COUNT(DISTINCT [患者識別ID])
FROM [DPCData].[dbo].[E_File]
WHERE [データ区分] = '50' and [レセプト電算コード] like '15%' and
      [診療行為名称] not like '%輸血%'
GROUP BY [診療科区分],[実施年月日]
ORDER BY [診療科区分],[実施年月日]
GO
```

目標の決め方

- Targeting
 - Eファイルから診療状況

データ区分	診療識別	レセプト電算コード
13	医学管理	11%
31	皮下筋肉内	13%
32	静脈内	13%
33	注射その他	13%
39	薬剤料減点	13%
40	処置	14%
50	手術	15%
54	麻酔	15%
60	検査・病理	16%
70	画像診断	17%

目標の決め方（Positioning）

- Positioning（ポジショニング）
 - 製品（Product）：品種、ブランド
 - 流通（Place）：場所
 - プロモーション（Promotion）：広告、広報
- Priceは値段設定ができないので使えない
- Productにおいては診療行為の質や、
大学病院等ではブランドで違いをどう打ち出すか
- Promotionにおいては効果的な広報を行うか

目標の決め方：（例）病院理念

- 理念

1. 患者第一の医療を行います。
2. 科学的根拠に基づく安全かつ質の高い医療を提供します。
3. 人間愛に徹した優れた産業医と医療人を育てます。

- 基本方針

1. 患者の皆様の尊厳とプライバシーを守ります。
2. 患者の皆さんと診療情報を共有し、治療方針の選択に当たりその意思を尊重します。
3. 院内の診療科・職種間の連携を密にし、質の高いチーム医療を行います。
4. 地域の医療機関と連携し、地域のニーズに合った医療を提供するとともに難病治療・高度先進医療を目指します。
5. 臨床研修・実習生及び生涯教育の充実を図り、産業医をはじめ全ての分野における人間愛に徹した優れた医療人を育てます。
6. 職業性・難治性疾患の病院を解明し、新しい診断・治療法を開発するなど独創性の高い研究を行います。

目標の決め方：（例）外部、内部要因

• 外部要因

- 整形外科関係の疾患が多い
- 医療圏の人口は減少している
- 病院近辺に住宅地が建てられている
- スポーツに力を入れた学校等が多い

• 内部要因

- 整形外科の患者が少ない
- 大学病院である
- 各企業に卒業生医師が入社している
- 医療従事者は充実している
- リウマチ科・整形外科が有名である
- 診察までの待ち時間が長い

目標の決め方：（例）目標

- 卒業生産業医との連携による当院への紹介を強化する
- 近隣の学校の児童・生徒の患者を増やす
- 病院理念にある地域医療ニーズにあった医療提供から、
「近隣の学校の児童・生徒の整形外科疾患の患者を増やす」
を目標とする。

本発表の目的

- 医療に関するデータ（主にDPCデータ）から、
- 現在の自院のおかれている現状を知り、
- **問題点を見つけ、その改善策を考え、**
- 院内で情報を共有する、

- 方法をお伝えする。

SWOT分析 (1/2)

- Strength (強み) : 内部要因
- Weakness (弱み) : 内部要因

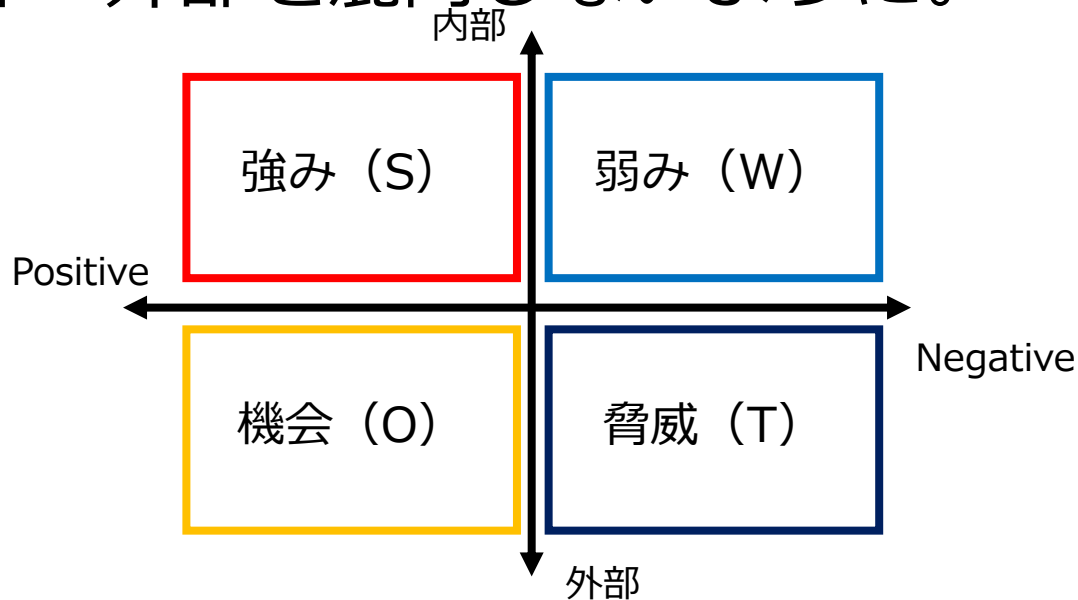
- Opportunity (機会) : 外部要因
- Threat (脅威) : 外部要因
 - マクロ環境要因
 - 人口動態—経済的、技術的、政治—法的、社会—文化的
 - ミクロ環境要因
 - 顧客、競合他社、流通業者、供給業者

※参考図書

フィリップ・コトラー, コトラーのマーケティング・マネジメント ミレニアム版 (第10版), 2001

SWOT分析 (2/2)

- データから見つけた特徴をSWOTの各項目に当てはめる。
 - 選んだミッションに対して行う
 - OとTを先に行い、SとWを行う。
 - 内部・外部を混同しないように。



Cross分析 (TOWS分析)

- S×O、S×T、W×O、W×Tを考える
 - 各中身を戦略と呼んでいる
 - Sから2つ、Oから1つを組み合わせて、戦略を作っても良い

TOWSマトリクス

	強み (S)	弱み (W)
機会 (O)	S×O 強みと機会の最大化	W×O 弱みの最小化のために 機会を最大化
脅威 (T)	S×T 強みによる 脅威への対処	W×T 弱みと脅威の最小化

※参考文献

H. Wehrich et al., The TOWS Matrix --- A Tool for Situational Analysis, Long Range Planning, 1982

バランススコアカード (Balance Score Card) (1/3)

- R. S. キャプラン教授
(HBS管理会計担当教授)
- D. P. ノートン氏 (経営コンサルタント)
- TOWS分析で考えた各戦略を4つの視点で分類する
 - 財務
 - 顧客 (ステークホルダー)
 - イノベーションと学習
 - 内部業務プロセス

戦略	視点
戦略1	財務
戦略2	顧客
戦略3	内部
戦略4	学習
戦略5	内部
戦略6	顧客
戦略7	財務

※参考図書
柴山慎一ら, 実践 バランス・スコアカード, 2001

バランススコアカード (Balance Score Card) (2/3)

- 各戦略の評価項目と評価基準を決める
 - Key Performance Indicator (KPI) の決定
- 財務の視点
 - 成長戦略と効率化戦略 = 収益増加とコスト削減
 - 病院経営管理指標※
- 顧客の視点
 - 満足度やシェア率
 - 患者満足度や紹介率等
- 内部業務プロセスの視点
 - イノベーション・オペレーション・アフターサービス = 何を提供するのか・どう効率よく提供するか・提供後どうするか
 - 手術や処置等の種類・クリニカルパス数・再来院率
- イノベーションと学習の視点
 - 人的スキル・ITインフラ・組織風土
 - 専門資格保有率・ITシステム利用率

※参考URL

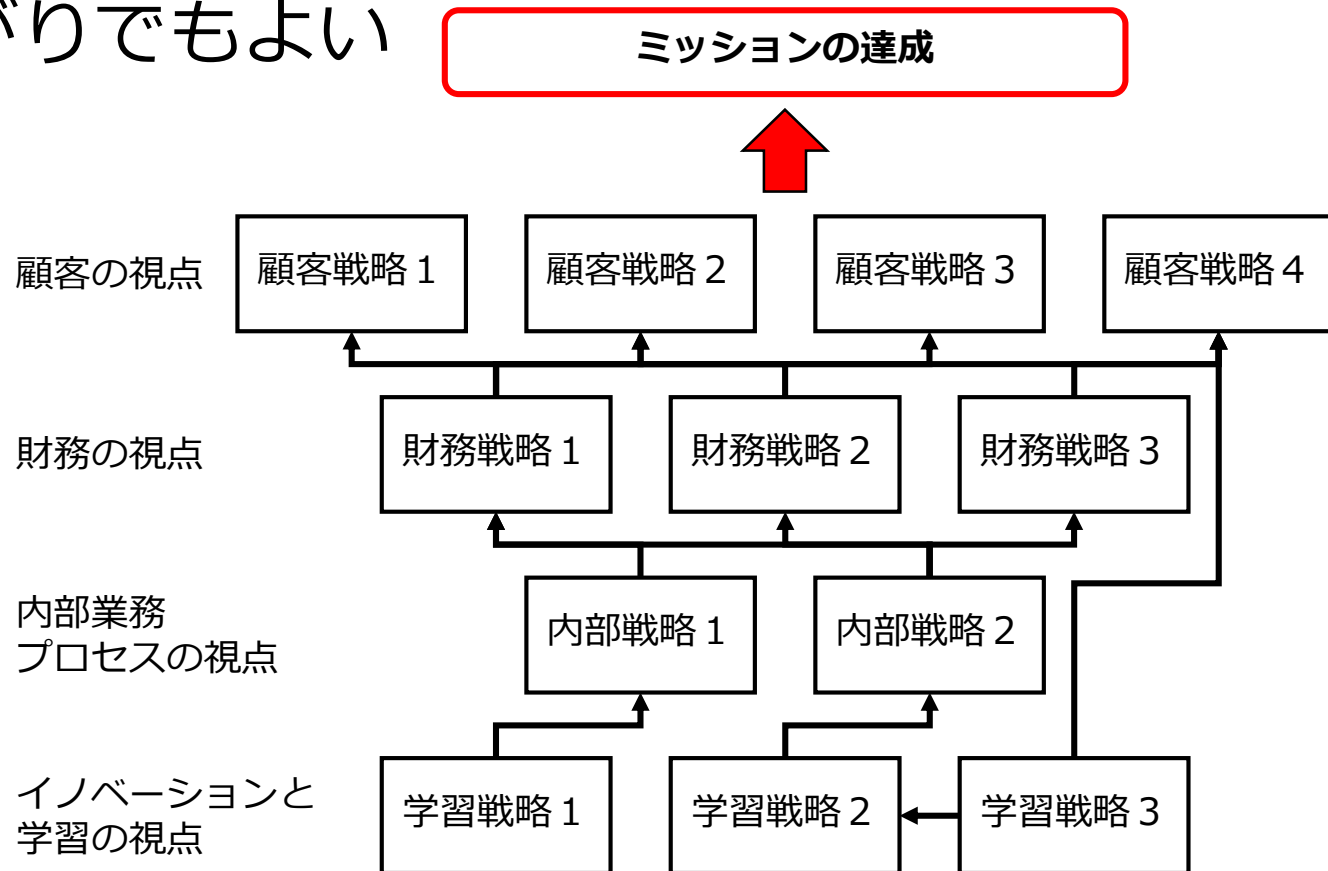
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/igyuu/igyoukeiei/kannri.html>, 2月18日現在

バランススコアカード (Balance Score Card) (3/3)

戦略	視点	評価項目 1	評価基準 1	評価項目 2	評価基準 2
戦略 1	財務	医業利益率	○%以上	総資本回転率	○%以上
戦略 2	顧客	満足度	○%以上		
戦略 3	内部	CP数	○増		
戦略 4	学習	○○専門医数	○人増	○○専門看護師数	○人増
戦略 5	内部	在院日数	○日減		
戦略 6	顧客	離職率	○%減		
戦略 7	財務	人件費率	○%減		

戦略マップ

- 下から全部つなげなくてもよい
- 視点を飛び越してもよいし、横だけのつながりでもよい



(例) SWOT分析

近隣の学校の児童・生徒の患者を増やす

強み (S)

- ・ 整形外科が有名である
- ・ 若松病院にスポーツ整形がある
- ・ 大学病院である
- ・ 卒業生産業医がいる
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

弱み (W)

- ・ 外来診療の待ち時間が長い
- ・ 紹介患者が減少している
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

機会 (O)

- ・ 病院の周りに学校が多い
- ・ スポーツに力を入れた学校がある
- ・ 住宅地が増えている
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

脅威 (T)

- ・ 医療圏の人口は減っている
- ・ 同じ区内に病院がある
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(例) TOWSマトリクス

近隣の学校の児童・
生徒の患者を増やす

強み (S)

- S1 : 整形外科が有名である
- S2 : 若松病院にスポーツ整形がある
- S3 : 大学病院である
- S4 : 卒業生産業医がいる
- S5 :
- S6 :
- S7 :

弱み (W)

- W1 : 診療の待ち時間が長い
- W2 : 紹介患者が減少している
- W3 :
- W4 :
- W5 :
- W6 :
- W7 :

機会 (O)

- O1 : 病院の周りに学校が多い
- O2 : スポーツに力を入れた学校がある
- O3 : 住宅地が増えている
- O4 :
- O5 :
- O6 :
- O7 :

【S×O】

- ・近隣の学校への出前講義 (S3×O1)
- ・スポーツ外傷の相談窓口の開設 (S1・S2×O2)

【W×O】

- ・整形外科メインのクリニックとの連携を強化 (W2×O2)

脅威 (T)

- T1 : 医療圏の人口は減っている
- T2 : 同じ区内に病院がある
- T3 :
- T4 :
- T5 :
- T6 :
- T7 :

【S×T】

- ・スポーツ整形の強化 (S1・S2×T2)

【W×T】

- ・待ち時間の不満解消のコンテンツ作成 (W1×T2)

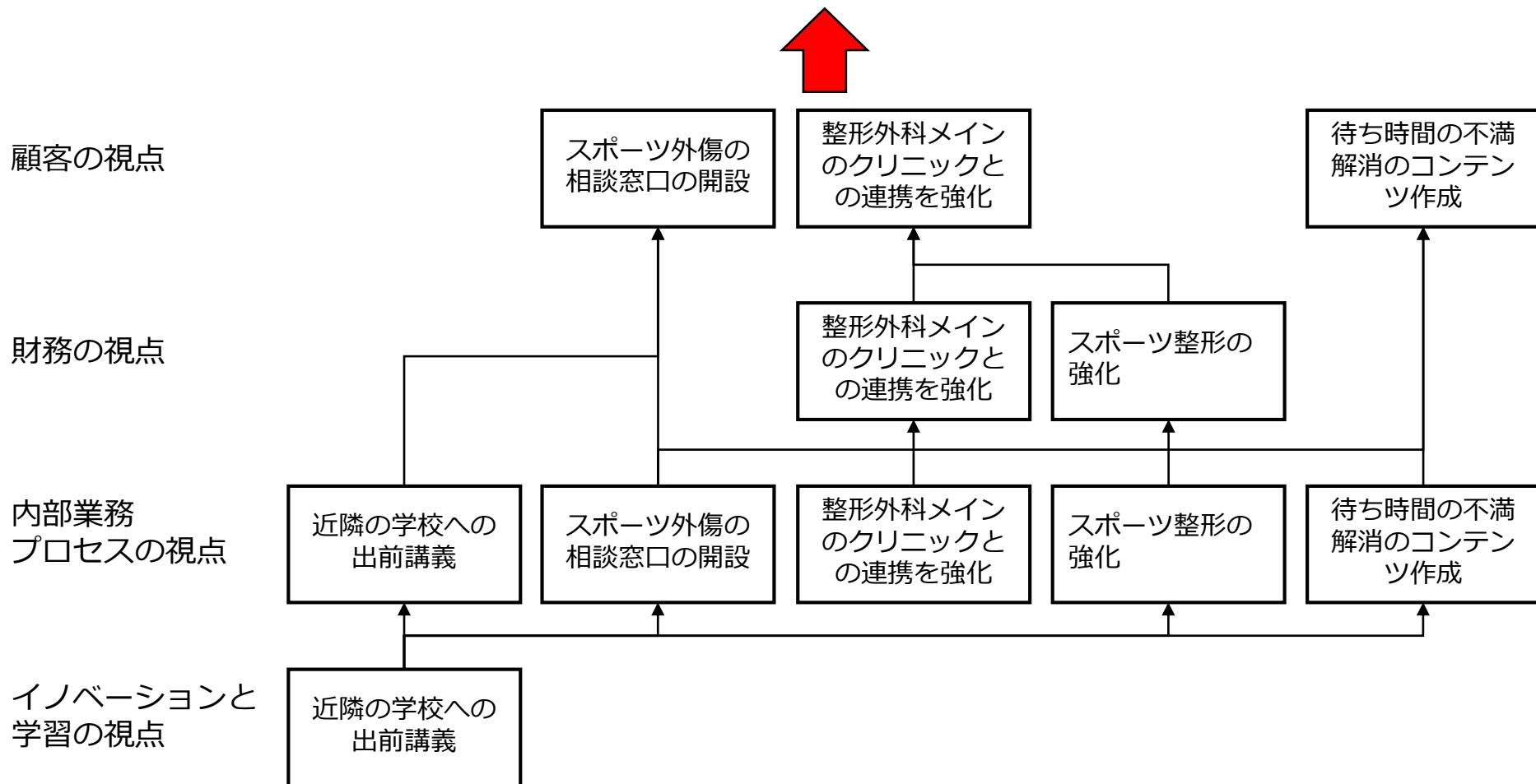
(例) バランススコアカード

近隣の学校の児童・生徒の患者を増やす

戦略	視点	評価項目1	評価基準1	評価項目2	評価基準2	評価項目3	評価基準3
近隣の学校への出前講義	学習・内部	出前講義の件数	〇〇件	本学学生の参加数	〇〇人		
スポーツ外傷の相談窓口の開設	内部・顧客	相談数	〇〇件				
整形外科メインのクリニックとの連携を強化	顧客・内部・財務	連携クリニック数	〇〇件	紹介患者数(紹介料)	〇〇人(〇〇円)		
スポーツ整形の強化	顧客・内部・財務	医師数	〇〇人	患者数(診察料等)	〇〇人(〇〇円)	手術数(手術料)	〇〇件(〇〇円)
待ち時間の不満解消のコンテンツ作成	内部・顧客	コンテンツ数	〇〇個	患者満足度	〇〇%		

(例) 戦略マップ

近隣の学校の児童・生徒の患者を増やす



本発表の目的

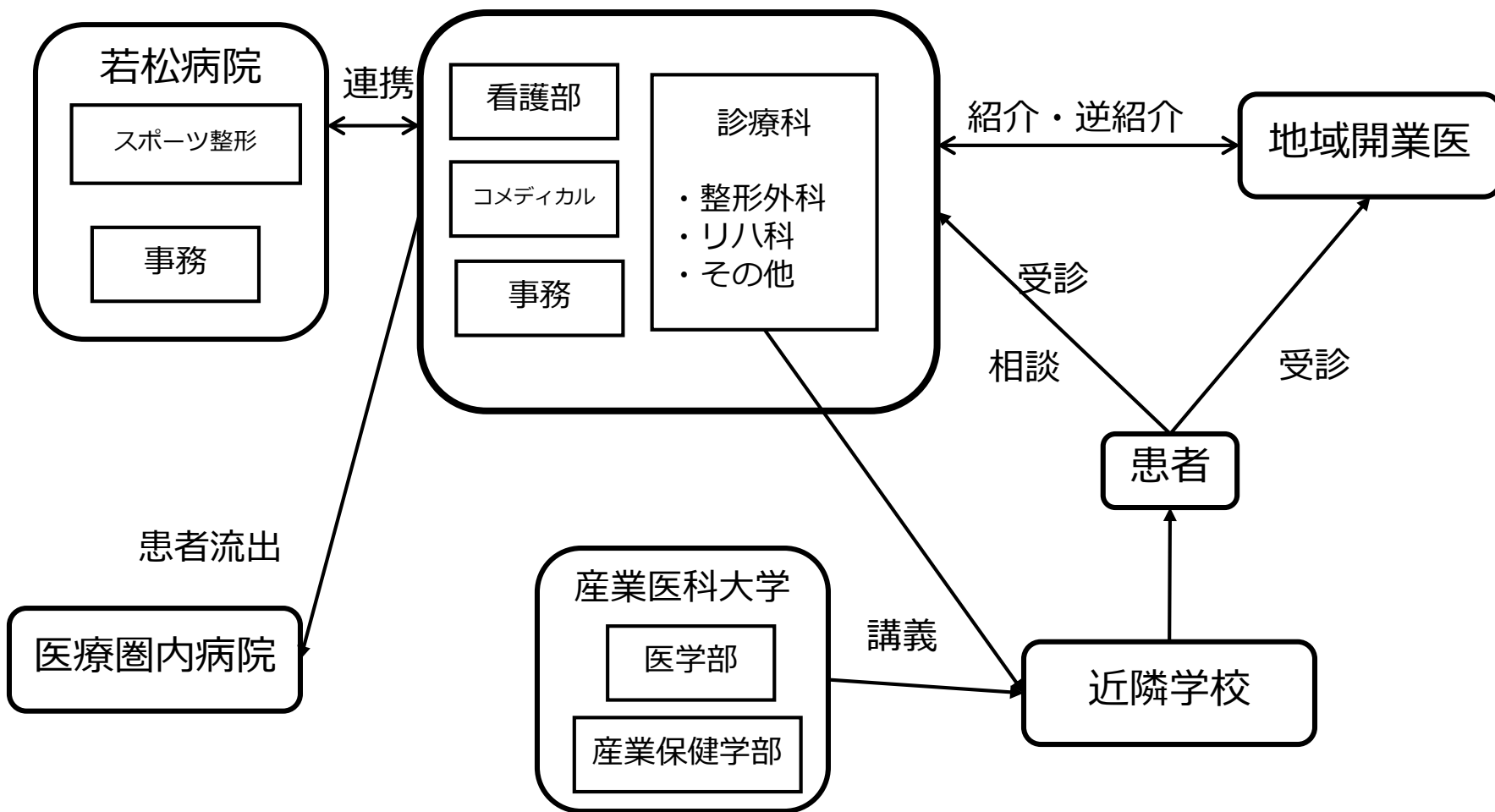
- 医療に関するデータ（主にDPCデータ）から、
- 現在の自院のおかれている現状を知り、
- 問題点を見つけ、その改善策を考え、
- **院内で情報を共有する、**
- 方法をお伝えする。

情報を共有する

- 情報を共有するためには、口頭ではなく文書として残す必要がある。
- 企画書を作成する。
 - 登場人物型
 - 全ステークホルダーを列挙
 - ドラマの関係図
 - 階段型
 - スケジュール
 - 抄録型
 - 企画の文書
 - はじめに、方法、結果、考察

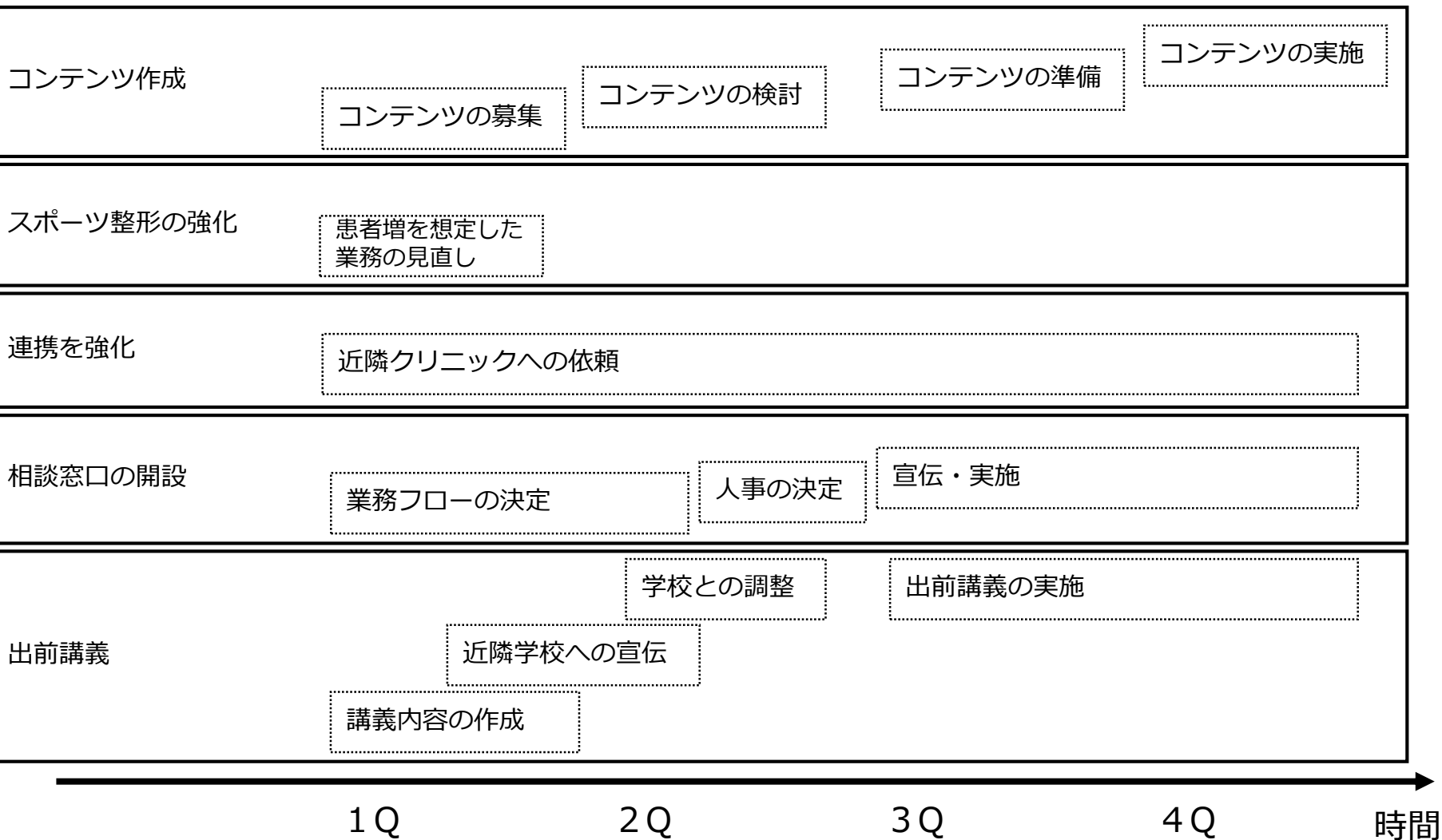
企画書：（例）登場人物型

産業医科大学病院



企画書：（例）階段型

※文字サイズ、四角のサイズ等は自由に変更してください



企画書：抄録型

- はじめに
 - 病院理念、外部環境、内部環境、目標
- 方法
 - KPIの評価項目
- 結果
 - KPIの評価基準
- 考察
 - 「はじめに」にかけなかった内外部環境、考えられるほかの評価項目、KPIが達成された理由、今後の課題・展望

まとめ

- 医療に関するデータ（主にDPCデータ）から、
 - 現在の自院のおかれている現状を知り、
 - 問題点を見つけ、その改善策を考え、
 - 院内で情報を共有する
-
- 使用するデータ：公開データ、
自院のDPCデータ
 - SWOT分析、Cross分析、
バランススコアカード、戦略マップ
 - 企画書：登場人物型、階段型、抄録型

まとめ

- 本発表ではスタートはデータから！！
- まず最初の一歩として、
- **日ごろ感じている問題点（＝仮説）**を持って、
- それを裏付けるデータを集め、分析し、
- 目標をたて、戦略を立てて、
- 企画書の作成をする